

教科名	保健体育	科目	保健	週授業時間	1 時間
-----	------	----	----	-------	------

### 1. 教科書および副教材・参考書

保健体育（大修館）

#### 授業の目標および内容

中学生期は、心もからだも著しく発達する時期です。心やからだを健康に育てるため正しい知識を身につけるよう学習します。

けがの防止は、人的要因や環境要因などがかかわって発生すること。また、傷害の多くは安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解させる。応急手当てを適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを実習も通して理解します。

感染症は病原体が主な要因となって発生し、発生源をなくす、感染経路を遮断する、主体の抵抗力を高めることで予防できることを理解します。また、健康を守るための社会の取り組みについて理解します。

### 2. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 なし	二次 7月	一次 なし	二次 1 2月	期末 3月
学力試験	第 1 回 なし		第 2 回 なし		第 3 回 なし

定期試験：試験時間は 30 分、各学期末試験を実施します。

### 3. 課題・補習について

なし

### 4. 評価の視点

筆記試験（100 点満点）と授業態度・提出物を総合的に判断し、評価点とします。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	けがの防止と応急手当	1. けがの原因と防止 2. 交通事故の実態と原因 3. 交通事故の防止 4. 自然災害によるけがの防止 5. 応急手当の意義と基本 6. 心肺蘇生法の流れ 7. 心肺蘇生法～実習～ 8. 止血法、包帯法、固定法	
2	感染症の予防と健康を守る社会の取り組み	1. 感染症と病原体 2. 感染症と体の抵抗力 3. 感染症の予防 4. 性感染症とその予防 5. エイズとその予防 6. 保健機関とその利用 7. 医療機関とその利用 8. 医薬品の正しい使い方	
3	環境の健康への影響	1. 環境の変化への体の適応 2. 気象情報の適切な利用 3. 快適で能率の良い環境 4. 室内の空気の汚染と換気 5. 衛生的な飲料水の供給 6. し尿とごみの処理 7. 災害と環境 8. 私たちの生活と環境問題	